

JPDA 7月定例理事会議事録

日 時：平成28年7月13日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中21名（加藤芳夫、田川雅一、青木あずさ、伊藤 透、牛島志津子、

畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤和美、加藤憲司、

小原 司、竹内清高、中越 出、永田麻美、中森恭平、藤田 隆、森 孝幹、

八木勇達、山崎 茂)

欠席届（井上 聡、永島 学、信藤洋二）

監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者21名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、田川雅一副理事長、池田毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。（決裁事項の議案号数はゴシック。）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに「あの人を会員に」キャンペーンで推薦された個人3人があり、審議の結果、全員につき満場一致でJPDA協会員を受託いただくべく、推薦状を出状することとなった。

(1)「あの人を会員に」(3名)

小玉 文(こだま あや) (推薦者=小比類巻 蘭)

齊藤桃子(さいとう ももこ) (推薦者=延安敬子)

鈴木美奈子(すずき みなこ) (推薦者=三原美奈子)

※小坂橋基希氏から7月6日に入会申込があり、これで、3月推薦者7名のうち3名の方に入会いただくことができた。

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人4人があり、定款6条(会員資格の取得)並に会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人4人の入会を承認した。

(2)法人会員(1社)

<西日本>

常盤薬品工業株式会社（推薦者＝時田秀久）

(3)個人会員（4名）

<東日本>

伊藤知友美(いとう ちゆみ)（推薦者＝田川雅一）

小林夕里子(こばやし ゆりこ)（推薦者＝田川雅一）

齋藤友弘(さいとう ともひろ)（推薦者＝楠本哲也）

松本一久(まつもと かずひさ)（推薦者＝田川雅一）

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員1社、個人会員8人、賛助会員1社の退会を承認した。

(1)法人会員（1社）

<東日本>

株式会社ブランドクリエイト（有効活用の仕方が分からなかった）[7月末退会希望]

(2)個人会員（8人）

<東日本>

粟井理紗子（事業展開と所属媒体を再考したい）[5月末退会希望]

岡澤 元（有効活用できていないため）[3月末退会希望]

柿崎弓子（一身上の都合により）[7月末退会希望]

鴨下宣訓（退職のため）[6月末退会希望]

新谷秀美（法人会員入会のため）[7月末退会希望]

名久井貴信（法人会員として活動のため）[5月末退会希望]

萩原弘美（一身上の都合により）[7月末退会希望]

藤きみよ（一身上の都合により）[6月末退会希望]

(3)賛助会員（1社）

常盤薬品工業株式会社（法人会員への移行のため）[7月末退会希望]

第3号議案 協会名義使用承認の件

山崎事務局長より下記の1件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

(1)後援名義の使用依頼（1件）

- ・「第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2016 in 名古屋」の後援名義使用依頼
主催：一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会

第4号議案 正副理事長報告について

加藤理事長、田川副理事長から下記の報告があった。また、加藤理事長、田川副理事長から、2020年に迎えるJPDA創立60周年記念事業の大枠に関しては、9月理事会に提案予定であることが案内された。また、凸版印刷・印刷博物館と協議している展覧会に関しては、調整を早めたい旨の要請もあるので、調整結果に関しては9月理事会に報告予定であることが案内された。また、加藤理事長から6月26日に開催された西日本勉強会に参加しての印象として、講師の皆川氏の言われた、新しい別の角度でモノを見ることで、おもしろい発想を得る手法「見えないモノを見る」ことの大切さの話、が印象に残っていることが補足された。

- 加藤理事長報告
- ・6/ 3 (公社)ジュエリーデザイナー協会総会後の懇親会に出席。
 - ・6/14 (公社)日本包装技術協会・2016日本パッケージングコンテストの作品審査会に出席。
応募総数：415点（前年：364点）
JPDA賞：虎屋 水羊羹（1片サイズが開けやすい仕組み、機能とシンプルなグラフィック）東罐工業(株)
経済産業大臣賞：ラサーナ シャンプー・トリートメント 詰め替えパック (株)ヤマサキ
 - ・6/27 (一社)日本空間デザイン協会総会后セミナーに山崎事務局長が代理出席。
 - ・8/ 3 D-8 運営会議(平成27年度決算、28年度予算案)に出席予定。
 - ・8/30 (公社)日本包装技術協会・2016日本パッケージングコンテストの表彰式に出席予定。
- 田川副理事長報告
- ・8/ 3 D-8 運営会議(平成27年度決算、28年度予算案)に出席予定。

第5号議案 2016年度理事長方針について

- ・加藤理事長から、6月下旬に第35回通常総会議事録と同送した2016年度(平成28年度)の理事長方針につき、改めて通読し、内容を役員全員に再確認して貰った。

第6号議案 法人会員獲得計画について

- ・加藤憲司理事から、調査研究委員会の検討課題になっていた「法人会員獲得計画」につき、下記の検討結果が案内された。

1、前提条件：

(現在)法人会員がJPDAから得ているメリット<JPDAが法人会員から得ているメリット

↓

(目標)法人会員がJPDAから得ているメリット>JPDAが法人会員から得ているメリット

※JPDAが法人会員から得ているメリット：広告協賛、会場提供、用紙提供、会社見学、
人材供出等、業種・分野ごとのパッケージデザインに必要な専門的周辺技術と知見

2、活動指針：4分類した法人会員ごとに、JPDAに対する希望・要求を調査・分析し、
結果に基づき、法人会員にとってのメリット・価値とは何であるかを明らかにし、法
人会員獲得・維持強化につながる施策・勉強会を実施する。

※4分類した法人会員：(1)インハウスデザイナーのいるメーカー

(2)インハウスデザイナーのいないメーカー 合計78社(34%)

(3)コンバーター、ボトルメーカー、素材メーカー等 72社(31%)

(4)デザイン・広告 81社(35%)

3、具体策の検討：分析結果に基づき、新規勧誘・既存会員の活性化の両面で対応。

(1) 新規会員勧誘に効果的なアプローチ

(2) 既存会員活性化に効果的なアプローチ

4、活動スケジュール

7月、既存法人企業調査質問票(聞き取り調査・フリーアンサー)完成

8月、事務局より訪問調査依頼書発送→電話→訪問日確定

9月、訪問調査

10月、アンケート分析を基にアプローチ方法と勉強会企画

11月、法人会員(新規勧誘及び既存会員向け)プログラム企画

第1回テーマ+講師の検討、フライヤー等告知制作

12月、入会勧誘付き勉強会案内フライヤー配布/メール案内配信

地域委員にも転送し、告知・配布の協力依頼

5、告知方法

新規会員：入会勧誘付き勉強会案内フライヤー配布/メール案内配信

・JPI、JIDAなどの勉強会交流関係ルート等を通じて配信

・勧誘対象を人脈の広い理事から紹介して貰う

・各委員会所属法人会員を通じロコミネットワーク活用

既存会員：メルマガ案内配布(訪問調査対象者には協力者として連絡必須)

6、年間計画

2017年1月以降も複数回試行し、年間を通じて成果を得る

★その他の意見

・法人と個人で構成されたJPDAの特色を活かしながら、法人の「顔=存在」が見えてく
るような改革を指向する。その為にも、法人の不満を抽出し、そのことをテーマに
専門家を交えて論議すべきである。

- ・法人同士の交流・話し合いが必要である。他団体との比較において、JPDAの組織として弱い部分を明らかにすることが必要である。

第7号議案 熊本地震への義援募金について

- ・山崎事務局長から資料に沿って、JPDAがこれまでに実施した義援募金に関して下記の案内があり、熊本地震の義援募金の目的を熊本県のシンボルである熊本城の復興支援に向けた義援募金とすることで承認された。

- 1、阪神淡路大震災に関する義援金の目的：被災したJPDA会員支援のための義援金
- 2、東日本大震災に関する義援金の目的：被災者支援に向け地域・自治体への義援金
- 3、熊本地震に関する義援金の目的：熊本県のシンボルである熊本城の復興支援への義援金とすることで、結果として熊本県民への復興支援に繋げる。

- ※ 震災発生時のJPDAの対応：義援金の拠出等に関しては理事会承認を得ることとする。但し、理事会開催までに期間がある場合は理事長・副理事長の決裁で30万円を限度に対処し、後日、理事会で承認を得ることとする。(震災時の対応の早さは、心情的にも歓迎されているようである。)

第8号議案 委員会報告について

<決済事項>

○総務・事務局

- ・山崎事務局長から、通常総会後に開催された杉浦俊作氏の記念講演会「私とパッケージデザイン、これまでとこれから」と懇親会についての収支計算報告があり、公益会計は、協会補助470,000円、支出合計403,476円、収支差額+66,524円、法人会計は、収入合計465,000円、協会補助0円、支出合計457,507円、収支差額+7,493円を承認した。

開催日時：平成28年5月31日(金) 17:00～18:45 懇親会19:00～21:00

記念講演会講師：杉浦俊作氏(東日本個人会員、杉浦デザインオフィス 代表)

会場：東京ガーデンパレス 2F「高千穂 A」

出席者数：120名

事業の詳細に関しては、広報誌PD24号で確認ください。

○東日本(ジェラルルキャロン氏来日特別講演)

- ・伊藤理事から、ジェラルルキャロン氏来日特別講演「パッケージデザイン イノベーションのヒント」についての収支計算報告があり、公益会計は、収入合計263,500円、協会補助0円、支出合計254,338円、収支差額+9,162円を承認した。

開催日時：2016年6月8日（水）

開催場所：資生堂銀座ビル 3F 花椿ホール

出席者数：88名（会員86名、非会員1名、学生1名）

ジェラルド・キャロン氏は、ヨーロッパ最初のマーケティングとクリエイションを融合させたデザイン会社カレ・ノアール社の設立社長であり、フランスデザイン界のパイオニアとして「デザインの父」として親しまれている人物。講演は「世界のパッケージデザインはどのように革新しているか」をテーマとして、世界的に有名なパッケージデザインコンペであるPENTAWARDS（ペントアワード）の歴代受賞作品をひもときながら、デザインやコンセプトの傾向を9つに分類し紹介。（「透明アート」「現実を歪曲した表現」「消費の習慣をダイレクトに」「状況を誇張した演出」「伝統から引き出して」「消費者が何の商品か理解しなければならない」「商品は人物となる」「全てラグジュアリー」「全てはコンセプトから」）新しいパッケージデザイントレンドを系統的に理解することができた。また、国ごとのデザインの特徴をキーワード化して紹介。各国の文化的独自性が浮き彫りになり、日本の立ち位置を確認する意味でも有益であった。

○西日本（勉強会 ひらくVol.1）

- ・藤田理事から、西日本勉強会 ひらく vol.1「ミナペルホネン 皆川 明氏講演会 in 京都 / 第35回通常総会報告会」についての収支計算報告があり、
公益会計は、収入合計216,000円、協会補助125,000円、支出合計346,685円、
収支差額-5,685円を承認した。法人会計は、収入合計277,500円、協会補助 0円、
支出合計258,872円、収支差額+18,628円を承認した。

開催日時：2016年6月26日（日）講演会：15：00～17：00 報告会：17：15～17：45

開催場所：TKPガーデンシティ京都

出席者数：80名（会員62名、一般16名、学生2名）

今年度の西日本事業のテーマ「ひらく」には、物事がはじまる「開く」、未来を「拓く」、悟りを「啓く」など、これからの西日本の活動に相応しい意味を込めた。

「ひらく」Vol.1は、2015毎日デザイン賞と平成27年度（第66回）芸術選奨美術部門文部科学大臣新人賞を受賞された皆川明氏の講演と、5月31日東京ガーデンパレスで行われた第35回通常総会の報告会を行った。

ミナペルホネンのアトリエで働くスタッフの様子がスクリーンに映し出され、ご自身の経歴から講演はスタートした。

皆川さんによると、この30年間で繊維業界は徐々に衰退してきたそうで、その繊維業界を皆川さんは、これからの30年をかけて活性化できないかと考えられており、そのために一緒に仕事をしている工場とのつながりを大切にして、閑散期をなくして仕事を切らさないようにし、工場の料金を素材の値段にかかわらず一定にするなどの活動を始めら

れているとのこと。またファッションにとどまらず、雑貨のB級品や端切れを利用して、これまでと違った視点で新しい価値を生むモノづくりのプロジェクトも紹介された。会場からの質問に丁寧に答えられる皆川さんは、誠実さにあふれ、人もモノも、一つ一つが違うことを大切にされる気持ちが伝わってきた。このように自分を取り巻くものごととに真摯に向き合う姿勢が、作品の創作と、人々の生業や業界の活性化に対する行動の基点なのだと感じた。

通常総会の報告会は西日本の理事や委員会からの報告に加え、今回は加藤理事長、田川副理事長等の参加で、いつもの年以上に濃い内容の報告会になった。

<報告事項>

○国内交流

- ・加藤和美理事、畝野理事から資料に沿って、今年の10月7日に予定している「金沢デザイン会議」の開催要領が案内された。今回は、インターネット・メルマガを活用しての対応を何時もよりは強化している点が強調された。また、今回は「金沢デザイン会議」とすることで、「全国会議」が、ともすると「全国大会=飲み会」の印象にならないようにするためと、会場を金沢美術工芸大学にしている点も考慮した旨が案内された。詳細に関しては、近々送付予定の応募要項で確認されたい。
- ・畝野理事から口頭で、7月8日(土)に富山デザインフェアの一環で開催されるワークショップの講師への協力要請があり、加藤理事長、竹内理事、永田理事から応援の意向が出された。

○国際交流

- ・森理事から口頭で、今年の海外デザイン視察企画は11/5(土)～11/13(日)、サンフランシスコ・ポートランド視察で、7/15(金)にウェヴで案内済み、8/5(金)申込締切、募集人員は30名、通訳は実績のある人を同行予定であることが案内された。なお、詳細については、既に案内済みなのでウェヴで確認されたい。
- ・森理事から資料に沿って、アスパック事業に関して応募状況・予選通過状況が案内され、600点(過去3回の応募数と同数)の応募に対して、予選通過は338点であったことが案内された。また、アスパック事業に関しての5月～7月までのウェヴサイトアクセス状況が補足された。また、今回はシンガポールの特別参加があるかも知れないこと、海外の作品応募のピークは9月ごろであることが補足された。また、加藤理事長から予選審査の審査委員名は明確にしておくようにとのアドバイスがあった。

○コンペティション

- ・小原理事から資料に沿って、下記の内容が案内された。
 - ・応募作品数：1,239点(7/11現在)(前回より少ないが、前々回よりは多い)

- ・7/1に応募全作品の事前チェックを実施した。
- ・一次審査：8/29(月) 10:00集合→11:00審査開始→16:30審査終了(随時解散)
二次審査：8/31(水) 10:00集合→11:00審査開始→17:50審査終了
- ・審査会場：東京都立産業貿易センター 台東館（浅草）
- ・投票及び集計方法の革新：審査時の投票・集計に「タブレット」を導入。
投票のしやすさ・スピードアップ、集計作業の精度アップと効率化、年鑑発刊用の作品情報資料に活用。但し、この件に関し加藤理事長から、初めての試みなので六耀社と十分検討するようにとの指示があった。
- ・入選、入賞作品の講評：9月末までに通知、公表を行う予定
 - ・入選、入賞者へのアナウンス
 - ・協会ホームページでの公表

○展覧会

- ・小川裕子理事から口頭で、展覧会(渋谷ヒカリエ)のオープニングパーティーを9月14日(水)の19:30から開催予定であることが案内された。

○出版

- ・山崎理事から口頭で、コンペ審査で導入する「タブレット」を年鑑出版時にも有効活用したい旨が案内された。

○教育

- ・永田理事から口頭で、講師には株式会社スマイルズの遠山正道社長を予定し、2017年2月開催で進行中であることが案内された。

○広報

- ・田川理事から資料に沿って、PD24号のコンテンツが案内された。24号は総会と記念講演会が報告され、気になる会社インタビューは「フォントのモリサワ」の特集を予定していること及び、今回初めて役員の顔写真を掲載することが案内された。

○インターネット

- ・中越理事から口頭で、8月中オープン予定でトップページのリニューアルを進行中であること、入会希望者のためのページを新設予定であることが案内された。

○デザイン保護

- ・小川亮理事から口頭で、新人を対象に7月7日(木)に開催した知財セミナーへの参加者は47名であったこと、次回セミナーは11月14日(月)に特許庁から講師を招聘し、PC使用でのセミナー開催を予定していることが案内された。

○東北プロジェクト

- ・江藤理事から資料に沿って、アスパック事業紹介のセミナーとワークショップ開催につき下記の案内があった。また、今後の東北プロジェクトの活動はJPDAが東北で何かをす

ると言うよりも、JPDAが切っ掛けになって東北の皆さんが集まり、考え、行動に移すこと、このような方向へのシフトを考え、今回の東北仙台でのワークショップには東北のいろいろの方に関わって貰ったことが案内された。

- ・山形の東北芸工大での企画

アスパック事業紹介とパッケージデザインセミナー&ワークショップ 参加者：50名

- ・仙台では学校の枠を超えての合同企画(東北の若いデザイナーやクリエイターの協力を得て実現)

参加者：東北工業大17名、日本デザイナー芸術学院仙台校16名、デジタルアーツ仙台3名、東北電子専門学校2名、東北芸工大2名

JPDA参加者：江藤理事、竹澤氏、宮城氏、塩田氏、アスパック委員の樽見氏

東北関係者：佐々木氏、レンゴウの堀氏、おいしい東北初代グランプリの小野氏、JAGDAの阿部氏、菅原教授、篠原教授、他の協力者

○アーカイブ

- ・青木理事から資料に沿って、下記の案内があった。

- ・2015パッケージデザイン大賞の大賞・金賞作品の保管作業を実施した。

- ・6月23日(木)にD-8ジャパン・デザインミュージアム設立委員会に参加した。

議題：7月3日(日)長野大学で実施予定の日本デザイン学会オーガナイズセッションに向けての打合せ

- ・7月3日(日)、日本デザイン学会 第63回春季研究発表会に参加した。参加者：30名

○西日本

- ・藤田理事から口頭で、工場見学企画として9月10日(土)に粘着剤の製造メーカーであるシバタセスコの犬山工場を見学予定であることが案内された。工場が犬山にあることから中日本会員の参加も歓迎とのことであった。

第9号議案 事務局報告について

山崎事務局長から、下記の案内があった。

- ・会員異動状況(1960年、1970年、1981年～2016年)について

第10号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成28年9月14日(水) 午後1時30分～5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前